

# 第167回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成22年2月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,750	-0.79	-0.03	4,061	0.64	-0.04
東部地区	14,387	0.11	-0.05	5,636	0.42	-0.07
西部地区	10,757	-0.93	-0.14	4,009	-0.24	-0.04
駅南地区	6,313	-1.80	-0.37	2,654	-1.41	-0.56
半田地区	3,628	0.72	-0.08	1,354	1.42	q
横山地区	5,688	0.37	-0.05	1,874	1.51	0.05
茨目・田尻地区	7,003	0.32	0.04	2,345	0.68	0.04
荒浜地区	5,113	-1.00	0.09	2,002	-0.24	0.20
その他地区	20,904	-1.44	-0.13	7,174	0.09	0.00
西山町地区	6,316	-1.23	-0.01	2,131	-0.51	-0.09
高柳町地区	1,945	-1.96	-0.35	849	1.43	0.11
柏崎市計	91,804	-0.74	-0.09	34,089	0.19	-0.06
刈羽村	4,905	-0.90	0.06	1,546	0.25	0.12
小国地区（長岡市）	6,404	-1.58	-0.10	2,146	-0.46	-0.09
出雲崎町	5,185	-2.24	-0.15	1,811	-0.71	-0.05
合計	108,298	-0.87	-0.08	39,592	0.12	-0.06

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で686人、0.74％、刈羽村で45人、0.90％、小国地区（長岡市）で103人、1.58％、出雲崎町で119人、2.24％とそれぞれ減少し、全体では953人、0.87％の減少となった。また、前月比においても、刈羽村で3人、0.06％と増加したものの、柏崎市で85人、0.09％、小国地区で7人、0.10％、出雲崎町で8人、0.15％と減少したことから、全体では97人、0.08％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で10世帯、0.46％、出雲崎町で13世帯、0.71％と減少したが、柏崎市で68世帯、0.19％、刈羽村で4世帯、0.25％と増加したことで、全体では49世帯、0.12％の増加となった。また、前月比においては、刈羽村で2世帯、0.12％と増加し、柏崎市で23世帯、0.06％、小国地区で2世帯、0.09％、出雲崎町で1世帯、0.05％と減少した結果、全体では24世帯、0.06％と減少している。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,030		30.37		109.77	
月間有効求職者	2,312		40.12		49.74	
月間有効求人倍率	0.45	0.49	-0.03*	0.06*	0.13*	0.14*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

労働需給状況については、平成22年1月までは「パートを除く常用」の計数を記載していましたが、当月（2月）からは「パートを含む全数」の計数を記載しますので留意願います。なお、前年同月比については、平成23年1月分まで、前月比では当月分が「パートを除く常用」との比較になります。

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,030人と前年同月比で240人、30.37％の増加、前月比でも539人、109.77％と増加している。

一方、月間有効求職者数は2,312人と前年同月比で662人、40.12％の増加、前月比でも768人、49.74％と増加した。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.45倍となり、県平均0.49倍と比べて0.04ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が489人と前年同月比で101人、17.12％の減少、一方、月間新規求職者数も615人と前年同月比で150人、19.61％と減少した結果、月間新規求人倍率は0.80倍となり、前年同月の0.77倍に比べて0.03ポイント改善している。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成22年2月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	23	-15	8	366	-455
共 同 住 宅	1	1	1	10	4
事 務 所	0	-2	-1	9	-1
作 業 所・工 場	1	0	1	3	-15
営 業 建 物	2	-1	1	23	-6
公 共 建 物	1	1	1	3	2
そ の 他	8	0	4	95	-19
合 計	36	-16	15	509	-490

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が36件と前年同月比で16件の減少となったものの、前月比では15件の増加となっている。工種別における主な増減は、一般住宅（併用）が前年同月比で15件の減少となったが、前月比では8件増加している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が24件、増築が6件、改築が6件となった。また、一般住宅（併用）23件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が12件（うち新築8件、増築2件、改築2件）、市外施工業者が11件（うち新築8件、改築3件）となっている。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	64,953	-0.77	-0.01	26,129	2.63	-11.57
電 力	11,164	-3.10	-0.23	41,675	16.57	3.34

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で507口、0.77%の減少、前月比でも10口、0.01%と減少している。一方、電力においても前年同月比で358口、3.10%の減少、前月比でも26口、0.23%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で671kwh、2.63%の増加となったものの、前月比では3,421kwh、11.57%と大幅に減少している。一方、電力においては、前年同月比で5,925kwh、16.57%の大幅な増加、前月比でも1,348kwh、3.34%の増加となった。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,902,029	1.47	8.58	674,641	-2.76	-1.08
営 業 用	332,668	2.67	2.27	115,142	0.00	3.12
工 場 用	789,914	33.35	1.86	125,022	-8.23	-7.54
官 公 学 校 用	712,253	2.31	-4.95	76,533	-2.11	2.16
そ の 他				45	21.62	-73.83
合 計	3,736,864	7.17	3.74	991,383	-3.13	-1.25

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で250,102m<sup>3</sup>、7.17%の増加、前月比でも135,047m<sup>3</sup>、3.74%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比ではすべての用途で増加、前月比では官公学校用を除くすべての用途で増加している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で32,035m<sup>3</sup>、3.13%の減少、前月比でも12,641m<sup>3</sup>、1.25%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では営業用、その他を除く全ての用途で減少、前月比では営業用、官公学校用を除く全ての用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	69,934	1.26	-6.24	74,164	3.82	-3.18
西 山	32,130	-21.66	-4.99	28,594	-24.23	-6.23
米 山	13,614	-19.88	-6.36	12,981	-19.05	-1.68
合 計	115,678	-8.96	-5.91	115,739	-7.56	-3.79

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では、前年同月比で11,391台、8.96%の減少、前月比でも7,278台、5.91%と減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で9,470台、7.56%の減少、前月比でも4,561台、3.79%の減少となっている。

インター別で見ると、前年同月比では西山・米山インターで入口・出口ともに大幅な減少、前月比ではすべてのインターの入口・出口において減少している。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	363,781	2.70	1.05	151,932	-2.56	0.67
平 残	356,725	2.57	-0.55	148,887	-1.83	-0.30

預金は、末残が前年同月比で9,577百万円、2.70%の増加、前月比でも3,807百万円、1.05%と増加している。平残は、前年同月比で8,968百万円、2.57%の増加となったものの、前月比では1,986百万円、0.55%と減少している。

一方、貸出金は、末残が前年同月比で3,997百万円、2.56%の減少となったが、前月比では1,024百万円、0.67%と増加している。また、平残においては前年同月比で2,777百万円、1.83%の減少、前月比でも455百万円、0.30%の減少となっている。

## 8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	29,155	527.25	0.86
交 換 金 額	20,534	389.78	3.16
不 渡 り 手 形 枚 数	62	342.85	287.50
不 渡 り 手 形 金 額	44	420.08	129.44

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で24,507枚、527.25%の増加、前月比でも251枚、0.86%と増加している。また、交換金額は、前年同月比で16,342百万円、389.78%の増加、前月比でも631百万円、3.16%の増加となっている。なお、不渡手形は62枚、44百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産4件（前年同月6件、前月6件）、負債総額5億円（同38億円、同19億円）となっている。地区別では、下越地区で2件（新潟市2件）、上越地区で2件（上越市2件）発生し、中越地区では発生していない。業種別は、建設業2件、販売業1件、その他1件となっており、倒産原因については、販売不振が3件、経営者の病気・死亡が1件となっている。

当月の企業倒産は4件、負債総額で5億円と、前年同月比では件数は2件減少、負債総額では33億円の減少となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況が続いている。企業における企業収益及び景況感の低下傾向となっている。個人消費は、一部に明るさがみられるものの、目立った回復には至っていない。当面は、緩やかな回復を期待するにとどまりそうだ。